

最新 入試小問トレーニング国語 1700

■本書の特色

このテキストは、全国の公立高校入試で出題された問題のうち、小問・単問を漢字・語句・文法の学習項目ごとに細分化し、それぞれをトレーニング①、②、③として3年分収録したものです。同じ学習内容であってもさまざまな角度から問われる入試問題への対応力を身に付けたり、苦手分野を反復演習することで弱点を補強したりできるように編集されています。

■本書の構成

公立高校入試で出題された小問・単問を、学習項目ごとに細分化して1つのトレーニングとしています。トレーニング①、②、③と進めることで、それぞれの学習項目の過去問を3年分演習することができます。下の「入試トレーニングチェック表」を利用して、学習項目や進捗を確認することができます。

入試トレーニングチェック表

単元番号	単元名	ページ	トレーニング①			トレーニング②			トレーニング③		
			学習項目	番号	学習日	学習項目	番号	学習日	学習項目	番号	学習日
1	漢字の読み書き	p 2	漢字の読み取り	①～⑩	／	漢字の読み取り	①～⑩	／	漢字の読み取り	①～⑩	／
			漢字の書き取り	①～⑩	／	漢字の書き取り	①～⑩	／	漢字の書き取り	①～⑩	／
2	漢字の知識	p 28	書き取り・部首・行書・楷書・総画数・筆順	(1)～(4)	／	読み取り・書き取り	(1)～(3)	／	読み取り・書き取り	(1)～(4)	／
			行書の特徴	(1)～(6)	／	漢字の成り立ち・意味・部首・総画数	(1)～(3)	／	漢字の部首・音訓読み	(1)～(4)	／
			楷書と行書	(1)～(3)	／	総画数	(1)～(5)	／	総画数	(1)～(4)	／
						行書の特徴	(1)～(7)	／	行書の特徴	(1)～(7)	／
3	熟語の知識	p 36	同音異字・同訓異字・音訓・同音異義語	(1)～(6)	／	書写	(1)	／	書写	(1)～(2)	／
			熟語の構成	(1)～(6)	／	漢字・熟語の意味	(1)～(3)	／	漢字・熟語の意味・対義語	(1)～(5)	／
			三字熟語・四字熟語	(1)～(6)	／	同音異字・書き取り	(1)～(5)	／	同音異字・書き取り	(1)～(6)	／
						熟語の構成	(1)～(2)	／	熟語の構成	(1)～(3)	／
4	語句の知識	p 45	慣用句	(1)～(8)	／	四字熟語	(1)～(9)	／	四字熟語	(1)～(3)	／
			ことわざ・故事成語	(1)～(4)	／	慣用句	(1)～(5)	／	ことわざ・慣用句・故事成語	(1)～(8)	／
			語句の意味	(1)～(3)	／	類義語・対義語	(1)～(5)	／	語句の意味	(1)～(17)	／
5	文法の知識	p 52	単語・文節	(1)～(2)	／	語句の意味	(1)～(15)	／	文節・文の成分・文節相互の関係・係り受け	(1)～(7)	／
			文の成分・文節相互の関係・主語述語・係り受け	(1)～(4)	／	文節	(1)～(4)	／	品詞の識別	(1)～(7)	／
			接続語	(1)～(2)	／	文節相互の関係・主語述語・係り受け	(1)～(5)	／	動詞	(1)～(6)	／
			品詞の識別	(1)～(9)	／	品詞の識別	(1)～(9)	／	形容詞・助詞	(1)～(3)	／
			動詞	(1)～(7)	／	動詞	(1)～(7)	／	品詞の意味・用法	(1)～(10)	／
			品詞の意味・用法	(1)～(7)	／	接続詞	(1)～(2)	／	敬語	(1)～(5)	／
			敬語	(1)～(6)	／	品詞の意味・用法	(1)～(11)	／			
6	現代仮名遣い	p 66		(1)～(2)	／	敬語	(1)～(3)	／		(1)～(5)	／
7	国語の諸知識	p 70	和語・国語辞典	(1)～(2)	／	読み取り・書き換え・表現	(1)～(4)	／	推敲・表現・表現技法・俳句	(1)～(7)	／
			詩・和歌・俳句の表現	(1)～(5)	／	手紙の知識・インタビュー	(1)～(4)	／	インタビュー	(1)～(3)	／
			表現技法・推敲	(1)～(5)	／	俳句	(1)～(2)	／			
			手紙の知識・話し合い	(1)～(2)	／	漢文の知識と読解	(1)～(6)	／	漢文の知識	(1)～(10)	／
			漢文の知識	(1)～(5)	／	漢詩・文学史の知識	(1)	／			

2

漢字の知識

学習日 ① /

学習日 ② /

学習日 ③ /

【漢字の知識のトレーニング①】

1 書き取り・部首・行書・楷書・総画数・筆順

- (1) 次の——線部を漢字になおしたとき、「机」と部首が同じになるものをつ選び、記号で答えなさい。

ア 冒ケンの旅に出る。 イ 全国カク地で展示会を開く。

〈大阪—一般A〉

ウ 東京の近コウに住む。 エ テントの支チュウを立てる。

- (2) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くときの総画数と同じ総画数である漢字を下から選び、記号で答えなさい。

〈茨城〉

橋

ア 額 イ 幕 ウ 選 エ 銅

- (3) 次の①・②の行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を、それぞれ数字で答えなさい。

① 徴

〈高知〉

② 被

〈鹿児島〉

- (4) 次の楷書で書かれた熟語の「特」の○で囲んだ部分は何画目か書いて答えなさい。

〈北海道〉

特技

2 行書の特徴

- (1) 次は、生徒会が校内に掲示するために行書で書いた【標語】です。標語に書かれた文字の特徴を説明したものとして最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

〈福井〉

【標語】

時間をかけて 手を洗おう

ア「時」の字は、次の文字に続く筆脈が実線になって表れているね。

イ「間」の字は、すべての点画でしっかりと筆をとめて書いているね。

ウ「手」の字に、次の画につながるように書いた点画の省略があるね。

エ「洗」の字には、速く書く時などに生じる点画の連続が見られるね。

- (2) 書写の授業では、楷書と行書の特徴を理解し、場面に応じて使い分けて書くことを学習します。次の場面のうち、行書で書くのが適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

〈和歌山〉

ア 図書委員会からの連絡事項をクラスの仲間に伝えるため、教室の黒板に書く。

イ 校区に住む来年度入学予定の小学六年生に向けて、学校体験の案内状を書く。

ウ 進学を希望している高等学校の入学願書を、万年筆を使って直筆で記入する。

エ 壁新聞に載せる記事の取材で、地域の商店主にインタビューしてメモを取る。

- (3) 「落葉」という熟語を次のように行書で書きました。①、②の部分において、楷書で書いたときと比べて、どのような特徴が現れていますか。その組み合わせとして最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

① 落

② 葉

〈鳥取〉

ア ① 点画の連続 ② 筆順の変化 イ ① 点画の省略 ② 筆順の変化

ウ ① 点画の連続 ② 点画の省略 エ ① 筆順の変化 ② 点画の省略

- (4) 次の文字の部首に表れている行書の特徴として適切なものを下から一つ選び、記号で答えなさい。

〈福岡〉

時

ア 点画の変化 イ 筆順の変化
ウ 点画の視覚 エ 点画の連続

- (5) 次の行書で書かれた文字を楷書で書いた場合と比較すると、どのような特徴が見られますか。下から適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

〈大分〉

温故知新

ア「温」には点画の連続が見られる。

イ「故」には点画の省略が見られる。

ウ「知」には点画の連続が見られる。

エ「新」には点画の省略が見られる。

- (6) 次の行書の○で囲んだ部分に見られる特徴を説明したものとして最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

〈宮崎—推薦〉

緑地

ア 横画をつなげている。

イ 折れが丸みを帯びている。

ウ 右払いに形が変化している。 エ 点画を省略している。

3 楷書と行書

□(1)「特技」という熟語の「技」と同じ部首が使われている漢字を、行書で書かれた次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
〈北海道〉

ア 枝 イ 微 ウ 誓 エ 域 オ 孫

カ 独 キ 扱 ク 悠

□(2)「放課後」という熟語の「課」の偏（ん）を行書で書いたものとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
〈三重〉

ア  イ  ウ  エ 

□(3) 次の行書で書いた漢字を楷書にしたものを下から一つ選び、記号で答えなさい。

沢 ア 決 イ 快 ウ 沢 エ 訳

〈島根〉

【漢字の知識のトレーニング②】

1 読み取り・書き取り

□(1) 次の①～④の——線をつけた漢字の読み方として最も適切なものをそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

□① 煩雑な手順を省略する。

ア ぼんざつ イ とんざつ ウ はんざつ エ ひんざつ

□② 大臣を罷免する。

ア ひめん イ のうめん ウ りめん エ たいめん

□③ 寸暇を惜しんで勉強する。

ア とひま イ すんぴ ウ すんか エ そんひ

□④ 今日は爽やかな秋晴れだ。

ア おだ イ さわ ウ なご エ にぎ

□(2) 次の①～④の——線をつけた漢字の読み方として最も適切なものをそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

□① 運動を奨励する。

ア しょうかん イ しょうりき ウ しょうれい エ かんれい

□② 演奏を披露する。

ア ひろう イ とうろ ウ ところ エ はつろ

□③ 滑稽な話を聞く。

ア こっかく イ こっけい ウ かつこん エ かつさい

□④ 幼い頃を顧みる。

ア ころろ イ し ウ かえり エ かんが

□(3) 次の①・②の——線部を漢字で表したとき、その漢字と同じ漢字が使われている熟語をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

□① 紙を縦にサく。

ア 決裂 イ 風刺 ウ 避暑 エ 過去

□② シュコウを凝らしたおもてなしをする。

ア 特殊 イ 主役 ウ 取得 エ 趣味

2 漢字の成り立ち・意味・部首・総画数

□(1) 次の会話文は、グループ内で話し合いをしている場面の一部です。あとのそれぞれの問いに答えなさい。

生徒A 昨日、予習で課題の文章の辞典を読んでみたんだ。「住」「柱」「注」・

「駐」の共通性と個別特性について考える例が出ていたよ。これらの漢字は、へんが意味、つくりが音を表す①だというのが共通点だけど、「主」に②という意味があるのも共通点だということだよ。

生徒B なるほど、その共通性に気づくと、「人」が②ということなので

「住」は「すむ」という意味、「木」が②ということなので「柱」は「はしら」という意味だと考えることができる。「注」は「そぞぐ」という行為の結果として③が②のだと考えられるし、「駐」は「馬」を乗り物だと考えれば、うまく説明ができるね。こう考えると漢字の意味がより深く理解できるよな。

□① に入る適切なことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 象形文字 イ 形声文字 ウ 指事文字 エ 会意文字

□② に入る適切なことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 中心的存在になる イ とどまって動かない

ウ 固まって分散しない エ たくさん集まっている

□③ に入る適切なことばを、漢字一字で書いて答えなさい。

□(2) 次の——線部のカタカナを漢字になおしたとき、「流」と部首が同じになるものを選び、記号で答えなさい。

ア サッカーをするためにグラウンドをセイ備する。

イ 代々受け継がれてきた伝統的な技ホウを学ぶ。

ウ 実施したアンケートのケツ果を発表する。

□(3) 次の漢字の、①部首名を書きなさい。また、②この漢字を楷書で書いた場合の総画数を答えなさい。

權

〈群馬―後期〉

〈兵庫〉

〈大阪―特選A〉

3 総画数

- (1) 「選択」の——線部「扱」と楷書で書いた場合の総画数が同じになる漢字を次から一つ選び、記号で答えなさい。 〈岐阜〉

ア 版 イ 防 ウ 衣 エ 母

- (2) 次の行書で書いた漢字を楷書で書いたとき、総画数は何画になりますか。下から一つ選び、記号で答えなさい。 〈島根〉

閉

ア 八画 イ 九画 ウ 十画 エ 十一画

- (3) 「考慮」の——線部「考」を楷書で書いたときの総画数と、次の——線部に適切な漢字をあてて楷書で書いたときの総画数が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。 〈福岡〉

ア 立派なこう績をあげる。 イ 親こう行する。

ウ こう沢のある布を使う。 エ こう福を手に入れる。

- (4) 次の行書で書かれた漢字のうち、楷書で書いたときに総画数が最も多い漢字を一つ選び、記号で答えなさい。 〈宮崎―推薦〉

ア 雪 イ 草 ウ 閑 エ 被

- (5) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を答えなさい。 〈鹿児島〉

閑

4 行書の特徴

- (1) 次の漢字のAの部分に表れている「点画の省略」という行書の特徴と同じ特徴が表れている部首を下から一つ選び、記号で答えなさい。 〈福岡〉

結

ア 貝(かいへん)

イ オ(てへん)

ウ ヌ(たけかんむり)

エ 示(あめかんむり)

- (2) 行書の特徴である筆順の変化が見られる漢字を次から一つ選び、記号で答えなさい。 〈大分〉

星	ア
の	イ
光	ウ
の	エ
羅	オ
針	
盤	

- (3) 次は、「草」、「雲」という文字をそれぞれ行書で書いたものです。○で囲んだI・II

の部分の、行書の特徴の組み合わせとして最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。 〈山梨〉



- | | | | | |
|---|---|-------|----|-------|
| ア | I | 点画の省略 | II | 点画の省略 |
| イ | I | 筆順の変化 | II | 点画の省略 |
| ウ | I | 点画の省略 | II | 筆順の変化 |
| エ | I | 筆順の変化 | II | 筆順の変化 |

- (4) 次の行書で書いた□内の漢字を、楷書で書いたものと比較したとき、○で囲まれた部分X、Yの行書の特徴の組み合わせとして最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。 〈奈良〉



- | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|
| ア | X | 点画の丸み | Y | 筆順の変化 |
| イ | X | 点画の丸み | Y | 点画の連続 |
| ウ | X | 点画の省略 | Y | 点画の連続 |
| エ | X | 点画の省略 | Y | 筆順の変化 |

- (5) 次の行書のうち、点画の省略がみられるものを一つ選び、記号で答えなさい。 〈山口〉

ア 描 イ 作 ウ 情 エ 視

- (6) 次の文字は、「取」を行書で書いたものです。この中に見られる行書の特徴として、不適切なものを下から一つ選び、記号で答えなさい。 〈宮崎〉

取

- ア 点画の連続がみられる。 イ 点画の省略がみられる。
ウ 点画の変化がみられる。 エ 筆順の変化がみられる。

- (7) 次は、「草枕」を異なる二つの書体で書いたものと、その【違いを述べた文】です。

【I】次は、「草枕」を異なる二つの書体で書いたものと、その【違いを述べた文】です。
I、II、IIIに入る適切なことばを、それぞれIとIIはあとのa群から、IIIはあとのb群から一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、二箇所ずつあるIとIIにはそれぞれ同じことばが入ります。 〈熊本〉

草枕

草枕

【違いを述べた文】

ⅠはⅡに比べ、点画をⅢ書くので速く書くことに適している。

a 群 「ア 楷書」 イ 行書

b 群 「ウ 崩さずに」 エ 明確に オ 直線的に

カ 独立させて キ 連続させて」

5 書写

□(1)「色はにほへど散りぬるを わが世誰ぞ常ならむ 有為の奥山けふ越えて 浅き夢見じ 酔ひもせず」といういろは歌を、行書とひらがなを交えて書く場合、どのようなことに気をつけるとよいですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。〈和歌山〉

ア 行書が読めない人がいることも考えて書くため、ひらがなはやや大きめに書くとよい。

イ どんな場面でも正しく字を書くため、ひらがなは省略や変化をさせず丁寧に書くとうい。

ウ 配列を整えて書くため、行書の特徴に気をつけて筆脈を意識し、全部つなげて書くとうい。

エ 行書に調和するひらがなを書くため、ひらがなの始筆や終筆の方向を変化させて書くとうい。

- (3) 次の行書で書かれたA～Dを楷書で書いたとき、同じ総画数になる組み合わせとして正しいものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

〈鳥取〉

A 紺 B 敢 C 港 D 莖

ア AとB イ AとC ウ AとD
エ BとC オ BとD カ CとD

- (4) 「度」を楷書で書いたときの総画数は何画ですか。数字で答えなさい。

〈山口〉

4 行書の特徴

- (1) 次は、「涙」、「結」という文字をそれぞれ行書で書いたものです。楷書で書いた場合と比較したとき、○で囲まれたあ・いの部分に表れている行書の特徴として適切なものを下から一つずつ選び、記号で答えなさい。

〈長野〉

あ
涙

い
結

ア 点画の省略
イ 直線的
ウ 点画の連続
エ 筆順の変化

- (2) 次は、「種」という漢字を行書で書いたものです。○で囲まれた①と②の部分に表れている行書の特徴の組み合わせとして最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

〈大阪―特選B〉

① 種 ②

ア ① 点画の連続 ② 筆順の変化
イ ① 点画の省略 ② 点画の連続
ウ ① 筆順の変化 ② 点画の省略
エ ① 点画の省略 ② 筆順の変化

- (3) 次の行書で書いた漢字の①、②の部分の特徴の組み合わせとして最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

〈和歌山〉

① 和歌山 ②

- ア ① 筆順の変化 ② 点画の連続 イ ① 点画の省略 ② 点画の変化
ウ ① 点画の変化 ② 筆順の変化 エ ① 点画の連続 ② 点画の省略

- (4) 次の行書で書いた文字を、同じ文字を楷書で書いた場合と比較すると、どのような特徴が見られますか。適切ではないものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。〈大分〉

秋晴れ

ア 点画の省略 イ 筆順の変化
ウ 点画の連続 エ 点画の変化

- (5) 次の○の中は、漢字二文字を行書で書いたものです。○で囲んだ部分の行書の特徴を説明したものとして最も適切な組み合わせを下から選び、記号で答えなさい。

〈宮崎―推薦〉

平和

ア「平」…方向の変化 「和」…点画の連続
イ「平」…点画の連続 「和」…筆順の変化
ウ「平」…点画の連続 「和」…点画の省略
エ「平」…方向の変化 「和」…筆順の変化

- (6) 次の行書で書かれた漢字の特徴を説明したものとして最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

〈鹿児島〉

茶

ア 全ての点画の筆の運びが直線的である。
イ 点画が一部連続し、筆順が変化している。
ウ 点画の省略がなく、線の太さが均一である。

□(7)「心」の字を次のように行書で書きました。楷書体で書いたときと比べてどのような特徴がありますか。最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

〈沖繩〉

心

- ア 点画が連続しなめらかである。
- イ 点画が連続し角張っている。
- ウ 点画が明確で直線的である。
- エ 点画が明確で丸みがある。

5 書写

□(1) 次は、Tさんが書写の授業で書いた「下書き」と「清書」です。Tさんが書いた「清書」は「下書き」と比べて、どのようなことに注意して書かれていますか。Tさんが注意したことを説明したものとして適切ではないものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

〈大阪―特選A〉

「下書き」

夢を実現する

「清書」

夢を実現する

ア 仮名は漢字よりも少し小さくなるようにした。
イ 行の中心をそろえ、書体を行書に統一した。
ウ 用紙の上下に余白を取り、字間を均等にそろえた。

□(2) 次の「A」、「B」は、野村さんが印象に残ったことを短冊に書いた文字です。野村さんが、文字を書き直したときに気を付けたこととして適切なものを次からすべて選び、記号で答えなさい。

〈福岡〉

「A」最初に書いた文字

注意ぶかく聞く

「B」書き直した文字

注意ぶかく聞く

- ア 漢字を仮名よりも小さめに書くこと。
- イ 紙面の上下左右に余白を適度に取りつつ書くこと。
- ウ 直線的な点画で筆脈を意識して書くこと。
- エ 漢字の行書に調和する書き方で仮名を書くこと。
- オ 行の中心に文字の中心をそろえて書くこと。